

いすみ生物多様性戦略



生物多様性豊かな地域づくり
里山里海を守り伝える人づくり



2015年2月 いすみ市

表紙写真:左から「いすみ市で新種記載のイスミスズカケ(P12)、
2014年4月に飛来したコウノトリ(P75)、山田川での生きもの
の観察会」絵は松下優子さん



いすみ市民憲章

わたしたちは、いすみ市民であることに誇りを持ち、豊かな自然の恵みと、先人が築き上げてきた尊い歴史と文化を受け継ぎ、このふるさとを愛し、住みよい活力に満ちたまちの実現をめざし、ここに市民憲章を定めます。

1. 豊かな自然を守り育て、海と緑の美しいまちをつくら
ます。
1. 働くことを喜びとし、活力のあるまちをつくら
ます。
1. 歴史と伝統がいきづく、夢のあるまちをつくら
ます。
1. 命を大切にし、安心して暮らせる福祉のまちをつくら
ます。
1. やさしさと思いやりの心で、笑顔が集う明るいまちを
つくら
ます。

はじめに



いすみ市は、海・川・山・田園がバランス良く配置され、生物多様性に富んだ地域です。その生物多様性の恩恵を受けて、誇るべきものがたくさんあります。器械根のイセエビ・タコなどのブランド

水産物、千葉県三大米の一つのいすみ米や岬のブランド梨、キャベツなどの多様な農産物、また、釣りやサーフィンのポイントも人気です。世界でいすみ市でしか見つかっていないイスマスズカケやイスマナガゴミムシ、天然記念物のミヤコタナゴなどの貴重な生きものがいくつも見られます。

そのため、いすみ市は、環境保全に高い意識で取り組んでいます。千葉県で初めて「ウミガメ保護条例」を策定しましたし、「ゲンジボタルの保護に関する条例」もあります。

2008年には、「夷隅川流域生物多様性保全協議会」を設立し、3年間生物多様性の保全にかかる活動に取り組んで参りました。2009年には、国土交通省が中心になり関東地域での広域連携によるコウノトリ野生復帰を進めながら、地域振興・経済活性化の実現を目指すプロジェクトが動き始め、翌年設立された「コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラム」に加盟しました。2012年には、「自然と共生する里づくり連絡協議会」を設立し、いすみ市の豊かな自然環境と潜在的な地域資源

を活かした地域振興・活性化を推進しようと取り組んでいます。

しかし、日本は現在大きな課題に直面しています。人口減少、少子化、高齢化に加え、原発事故やTPPの影響も懸念されます。このように将来が不透明な時代にあって、夢と希望のもてる地域づくりを強力に推進しなくてはなりません。

「いすみ生物多様性戦略」は、いすみ市が、この豊かな自然や文化が育んできた生物多様性をどう守りどう活用してゆくかの施策です。いすみ市民やいすみ市の生物多様性に関わるさまざまな人の意見を反映させて策定しました。いすみ市の生物多様性を大切に引き継ぎ、経済基盤をゆるぎないものにして市民の皆様が幸せを実感するとともに、未来の子どもたちがいすみの素晴らしい自然を享受し、いすみ市に生まれてよかったと心から言えるように、市民の皆様とたゆまず取り組んで参りたいと思います。

このたび、いすみ市の環境を後世に引き継ぐために今を生きる私たちが何をすべきかについて貴重な意見をお寄せくださった市民の皆様、そしてその意見を踏まえて、今後の取り組む方向を計画立案していただいた生物多様性いすみ戦略策定検討委員会の中村俊彦委員長をはじめとする委員の皆さん、多くの方々のご支援・ご協力に心から御礼申し上げます。

いすみ市長 **太田 洋**



太東埼灯台より夷隅川河口を望む

いすみ生物多様性戦略 目次

第1章 生命を支える生物多様性	1
1 生物多様性とその重要性	2
2 いすみ生物多様性戦略策定の背景	3
3 いすみ生物多様性戦略の位置づけと対象	5
第2章 いすみ市の自然と生物多様性	7
1 地形や気候	8
2 植物や動物	11
3 人と自然のかかわりの歴史	17
4 里山里海の現状	20
5 いすみ市の生物多様性にかかわる課題	22
第3章 生物多様性豊かないすみ市の将来像	29
1 基本理念	30
2 目標	31
第4章 未来への対策と取組	33
1 対策の7つの柱	34
2 対策から取組へ	35
3 取組事業	43
1) 里山里海の自然・文化の保護・保全	43
2) 里山里海の放棄・荒廃地の再生・管理	49
3) 外来生物・野生鳥獣害の防除・管理	56
4) 地域環境や先人の知恵の学び・継承	59
5) 生命を感じる自立・循環のライフスタイル	63
6) 生物多様性を活かした産業創造	67
7) 生物多様性を担う組織・拠点の設置	71
4 重点施策	73
第5章 推進体制と進行管理	77
1 推進体制	78
2 進行管理	80
資料編	81
1 生物多様性いすみ戦略策定検討委員会 委員名簿	82
2 策定の経過	83
3 アンケート結果	86
4 関係条例等	96
5 コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラム	102
6 自然と共生する里づくり連絡協議会	104



5月の桑田の里山



いすみ人と学ぼう

もくじ

① いすみ生物多様性戦略って何ですか？	2
② 「4つの危機」っていすみ市も何か危ないのですか？	4
③ 愛知目標って何ですか？	5
④ 生態系サービスってどんなサービスですか？	6
⑤ 器械根（いすみ根）って何ですか？	10
⑥ イスミスズカケって珍しい植物なのですか？	12
⑦ 夷隅川河口にある干潟ってそんなに大事なのですか？	28
⑧ いすみ市に来るウミガメを知っていますか？	32
⑨ 外来生物はどうしていけないのですか？	42
⑩ 環境創造型農業ってどんな農業ですか？	55
⑪ ミヤコタナゴはいなくなってしまうのですか？	55
⑫ コウノトリが来ると何かいいことあるのですか？	75
⑬ いすみ生物多様性戦略ができたので、いすみ市はもうだいじょうぶですね？	80

写真協力者（50 音順敬称略）

伊藤幹雄（P23 流竹木撤去作業）、大藪健（P7 ユビナガコウモリ、P13 キクガシラコウモリ、P14 メダカ・キンブナ、P15 アカイカタケ、オオシロカラカサタケ、P21 ゲンジボタル、裏表紙スナメリ）、川崎茂花（裏表紙コウノトリ画）、鈴木堅司（P16 イスミナガゴミムシ）、滝口和弘（P9 ワモンアザラシ）、千葉県いすみ環境と文化のさとセンター（P15 ミヤコタナゴ、P16 ゲンジボタル、P41 ネイチャーセンター、P55 ミヤコタナゴ、P61 自然観察会、P62 お飾りづくり、竹籠づくり、P69 イセエビ）、土屋喜久夫（P15 コナガエノアカカゴタケ）、手塚幸夫（P21 海中桜再現実験、P48 復田作業、P52 シイタケ菌打ち込み、P56 イノシシ・キョン）、中田良一（P33 コウノトリ）、中村俊彦（P22 丹ケ浦）、森谷香取（P15 ふ化した子ガメ、P32 ウミガメ産卵保護、アカウミガメ、P77 アカウミガメ、裏表紙アカウミガメ）、古沢小学校（P54 田植え、梨の収穫）、商工観光課（P10 イセエビ、マダコ、P59 大原はだか祭り、P67 太巻き寿司と伊八めし）、農林水産課（P10 アジ釣り、P54 中学生漁業教室、小学生ヒラメ稚魚放流）

その他の写真は事務局（布留川毅）が撮影したものです。なお、本冊子で使用する写真はすべていすみ市内で撮影されたものです。

デザイン協力：伊藤幹雄

いすみ生物多様性戦略

発行：いすみ市

発行日：2015 年 2 月 20 日

編集：いすみ市農林水産課・生物多様性いすみ戦略
策定検討委員会

問い合わせ先：いすみ市農林水産課 農林振興班

〒298-8501 千葉県いすみ市大原 7400-1

TEL: 0470-62-1280 fax: 0470-63-1252

E-mail: nousei@city.isumi.lg.jp

